

Ⅱ. 回答者の属性（市民調査）

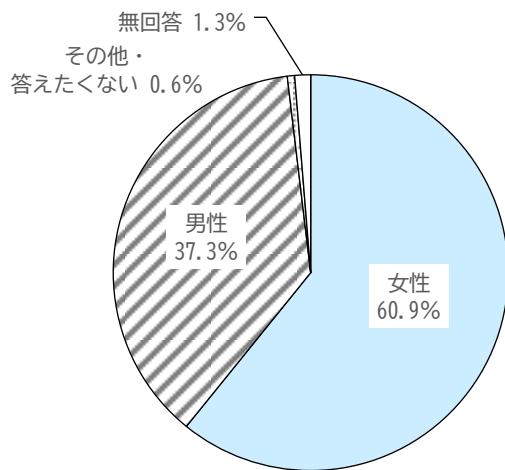
データを解釈するうえでの留意点

本調査の回答者集団は、本市の母集団に比べて、女性は50～69歳、男性は60歳以上の年齢層が多く、その結果、これらの年代の意識がより多く反映されている。また、本調査の調査対象数についても前回調査（3,000人）から1,000人（男女各500人）減らし2,000人となっている。

このことから本調査結果については、以上の点を考慮のうえ、解釈することが必要である。

1. 性別

【回答者の性別】



(n=708)

【参考】 母集団（令和7年（2025年）9月1日現在）と
前回調査の回答率

		女性	男性	その他 無回答	計
母 集 団	人口（人）	182,328	159,069	—	341,397
	構成比	53.4%	46.6%	—	100.0%
前回調査 回答率・構成比		59.9%	37.8%	2.3%	100.0%

回答者の性別では、「女性」が60.9%、「男性」は37.3%で、女性の回答者の方が多くなっている。「その他」は0.6%、無回答は1.3%となっている。

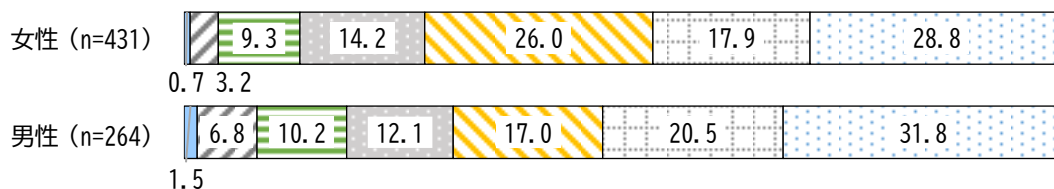
令和7年（2025年）9月1日現在の母集団人口の構成比同様、男性に比べ女性の割合が上回っている。また、母集団に比べ、今回調査回答者は女性が7.5ポイント高く、男性が9.3ポイント低くなっている。

2. 年齢

【回答者の年齢】

(単位：%)

	18～19歳		20～29歳		30～39歳
	40～49歳		50～59歳		60～69歳
	70歳以上		無回答		



【参考】 母集団（令和7年（2025年）9月1日現在）と前回調査の回答率

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
母 集 団	女性（人）	3,756	20,382	22,876	28,414	32,841	23,480	50,579	—	182,328
	構成比	2.1%	11.2%	12.5%	15.6%	18.0%	12.9%	27.7%	—	100.0%
	男性（人）	3,828	19,641	21,398	26,860	31,370	21,715	34,257	—	159,069
	構成比	2.4%	12.3%	13.5%	16.9%	19.7%	13.7%	21.5%	—	100.0%
前 回 調 査 回 答 率	女性・構成比	1.5%	6.2%	13.6%	20.9%	15.9%	15.6%	26.1%	0.1%	100.0%
	男性・構成比	2.0%	8.6%	10.1%	17.3%	12.5%	17.5%	32.0%	—	100.0%

<性別>

回答者の年齢では、女性は「70歳以上」が28.8%で最も高く、次いで「50～59歳」が26.0%、「60～69歳」が17.9%となっている。男性は「70歳以上」が31.8%で最も高く、次いで「60～69歳」が20.5%、「50～59歳」が17.0%となっている。

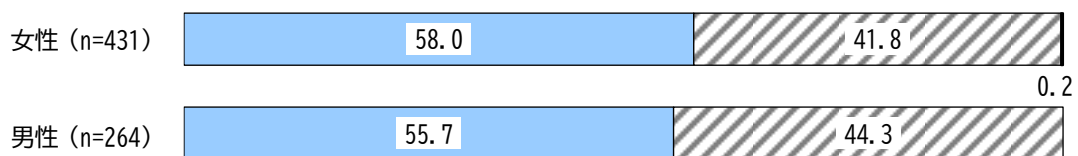
令和7年（2025年）9月1日現在の母集団人口の構成比に比べ、男女とも20歳代の割合が5ポイント以上低く、女性では50～69歳、男性では60歳以上の割合が5ポイント以上高くなっている。

3. 配偶者・パートナーの有無

【配偶者・パートナーの有無】

(単位：%)

- 配偶者・パートナーがいる
- 配偶者・パートナーはいない（離別・死別を含む）
- 無回答



<性別>

「配偶者・パートナーがいる」割合は、女性 58.0%、男性 55.7%である。

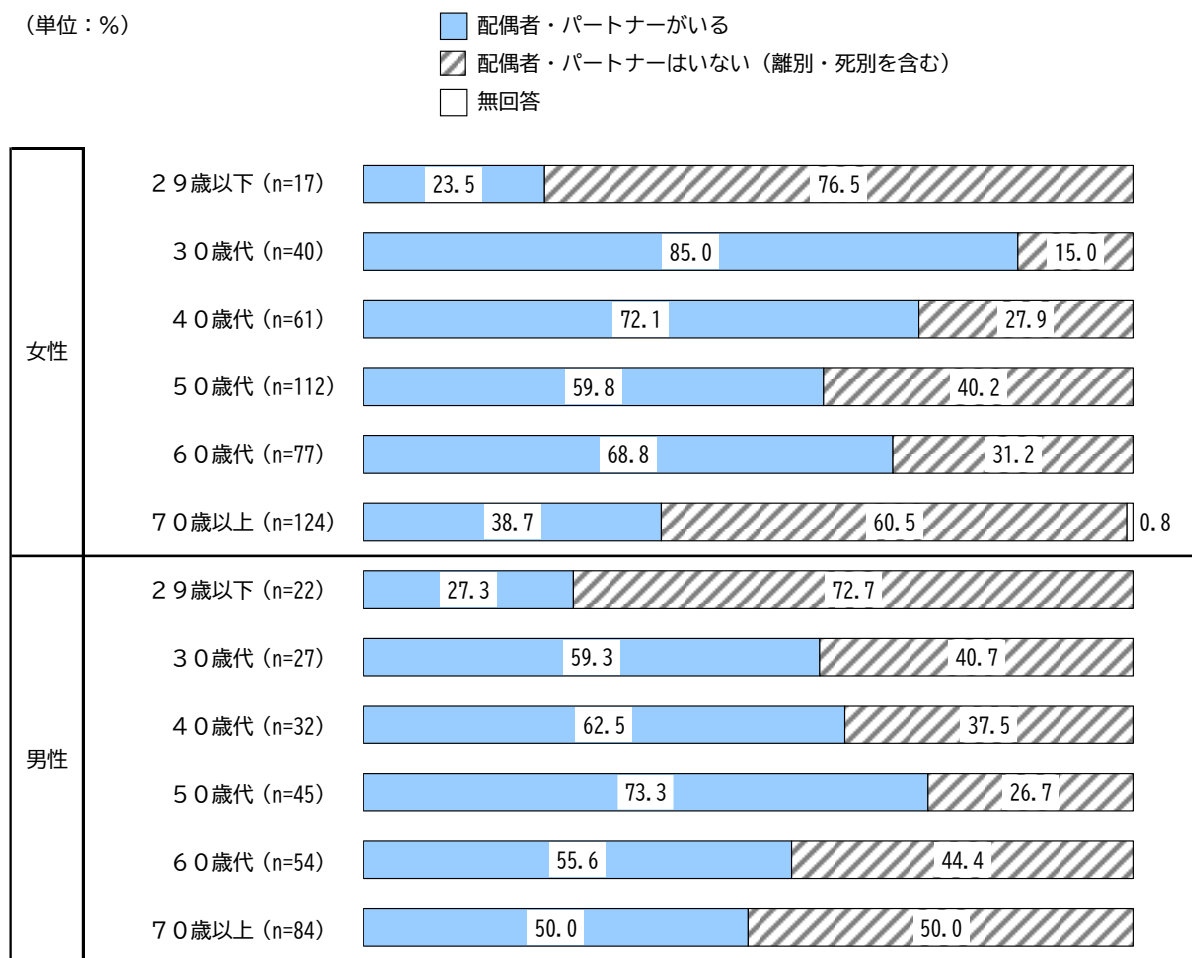
<性・年代別>

女性は30～60歳代、男性は30歳代以上で「配偶者・パートナーがいる」が50%以上を占めている。女性では30歳代、男性では50歳代で「配偶者・パートナーがいる」が高くなっている。

30歳代では、「配偶者・パートナーがいる」が、女性85.0%、男性59.3%と、20ポイント以上の差がみられた。

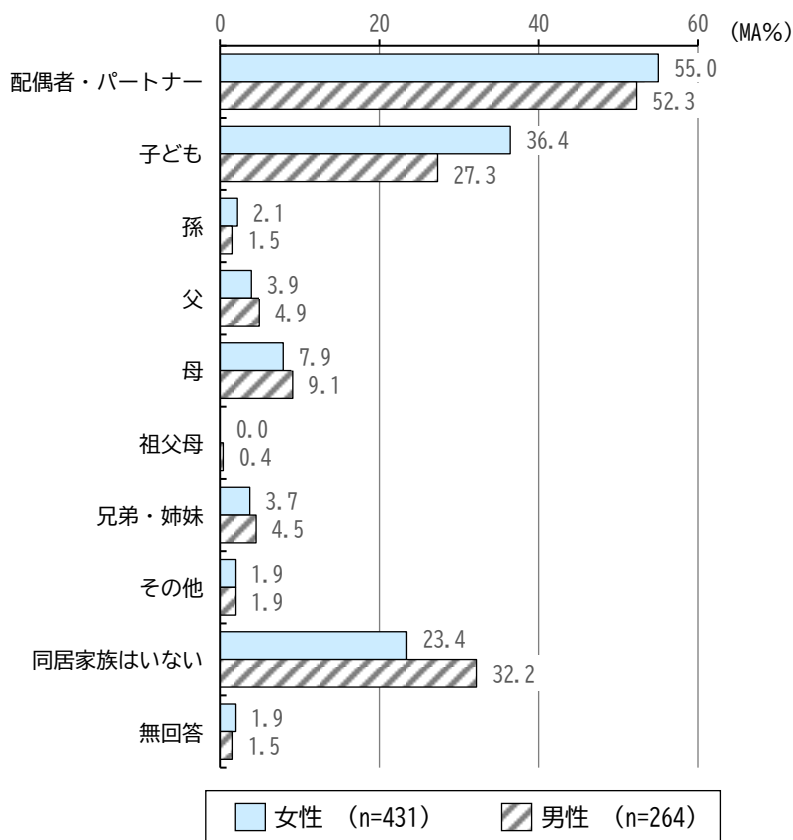
【性・年代別 配偶者・パートナーの有無】

(単位：%)



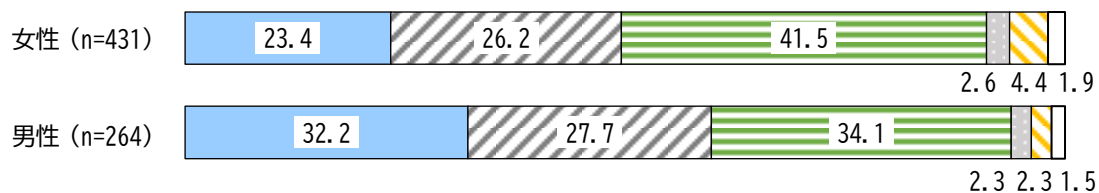
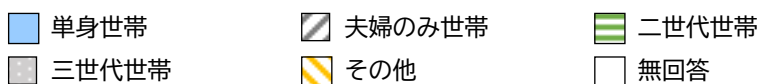
4. 同居家族

【同居家族】



【家族構成】

(単位：%)



<性別>

同居している家族では、男女とも「配偶者・パートナー」が5割台で最も高く、以下、女性では「子ども」が36.4%、「同居家族はいない」が23.4%、男性では「同居家族はいない」が32.2%、「子ども」が27.3%と続いている。

家族構成では、男女とも「二世帯世帯」が最も高く、女性で41.5%、男性で34.1%となっている。以下、女性では「夫婦のみ世帯」が26.2%、「単身世帯」が23.4%、男性では「単身世帯」が32.2%、「夫婦のみ世帯」が27.7%と続いている。

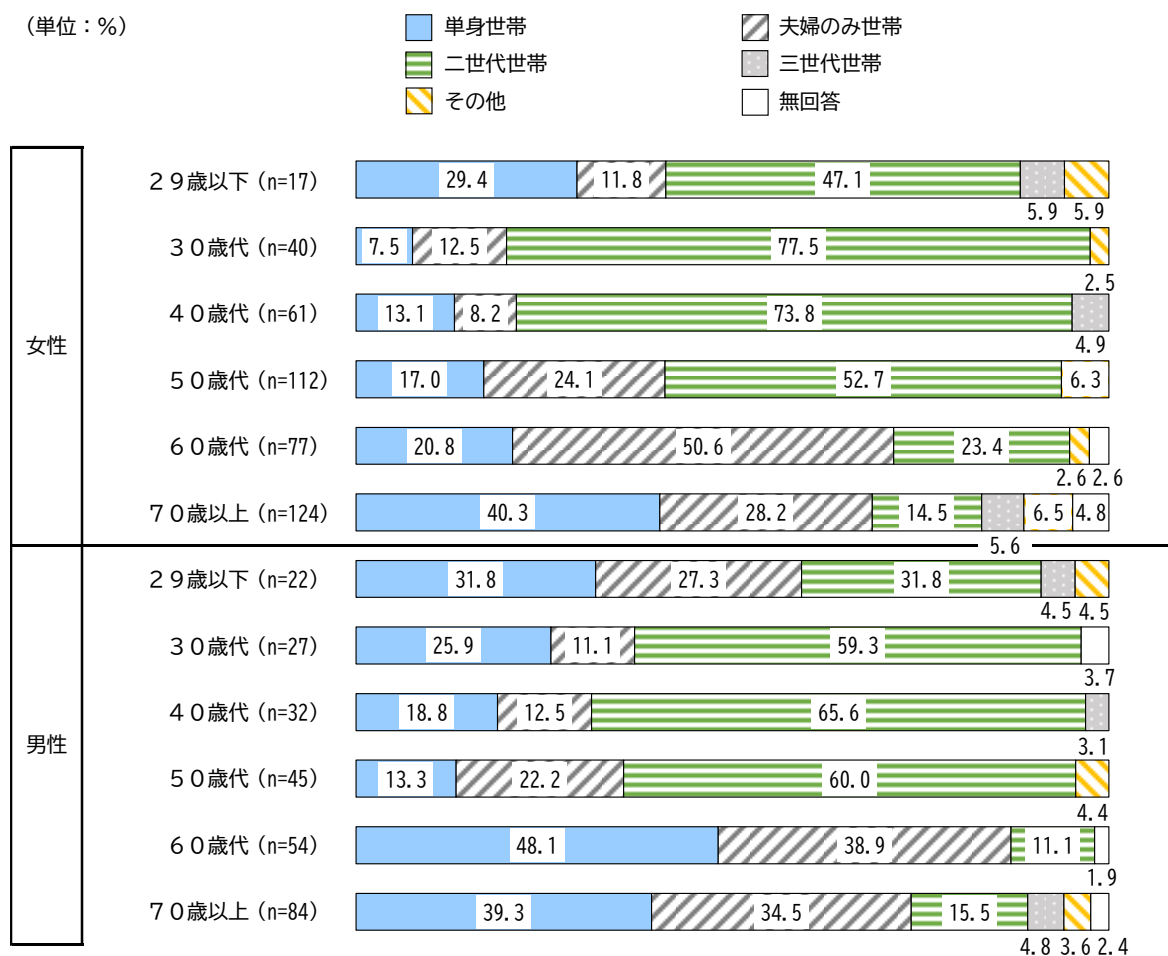
<性・年代別>

女性では、「二世帯世帯」が30～40歳代で7割台、50歳代で52.7%、29歳以下で47.1%とそれぞれ最も割合が高い。60歳代では「夫婦のみ世帯」が50.6%、70歳以上では「単身世帯」が40.3%で最も高くなっている。

男性では、「二世帯世帯」が40～50歳代で6割台、30歳代で59.3%とそれぞれ最も割合が高い。60歳代以上では「単身世帯」が最も高く、29歳以下では「単身世帯」と「二世帯世帯」が同率で最も高くなっている。

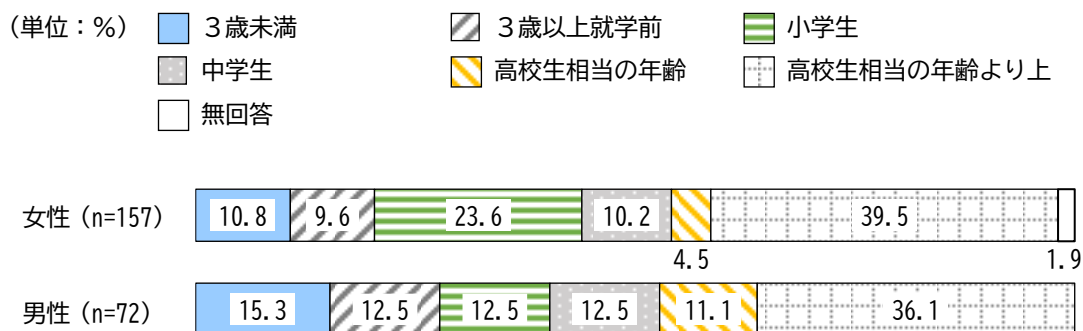
30歳代と60歳代では、女性の「二世帯世帯」の割合が男性に比べて10ポイント以上高く、男性の「単身世帯」の割合が女性に比べて10ポイント以上高くなっている。

【性・年代別 家族構成】



5. 末子年齢

【末子年齢】

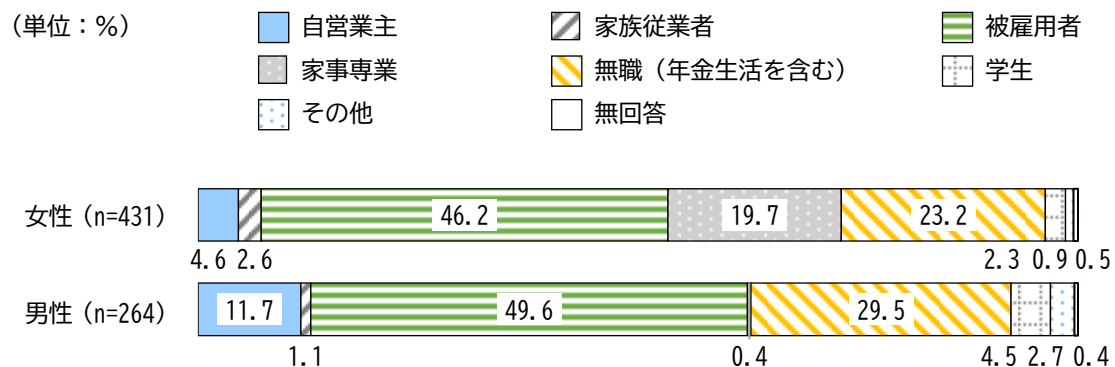


<性別>

子どもと同居している人に、一番下の子どもの状況をたずねたところ、「高校生相当の年齢より上」が男女とも3割台で最も高くなっている。女性では、「小学生」(23.6%)、男性では「3歳未満」(15.3%)が続いている。

6. 職業

【回答者の職業】



<性別>

女性の職業では、「被雇用者」が46.2%で最も高く、「自営業主」(4.6%)と「家族従業者」(2.6%)を含めた就労者が53.4%である。次いで、「無職(年金生活を含む)」が23.2%、「家事専業」が19.7%となっている。

男性の職業では、「被雇用者」が49.6%で最も高く、「自営業主」(11.7%)と「家族従業者」(1.1%)を含めた就労者が62.4%である。次いで、「無職(年金生活を含む)」が29.5%となっている。

<性・年代別>

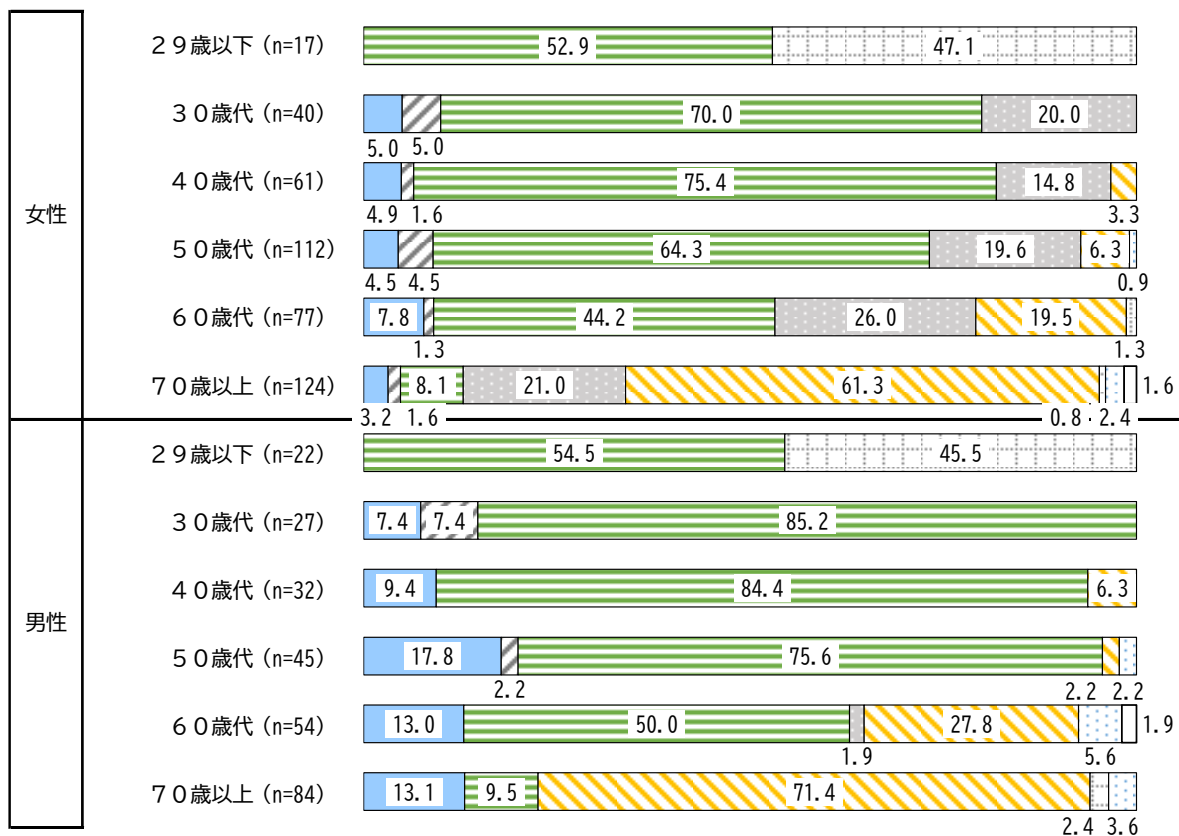
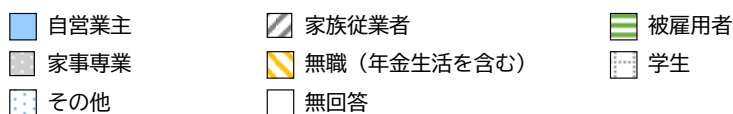
女性では、30～40歳代で「被雇用者」が7割台となっている。29歳以下や50～60歳代で「被雇用者」、70歳以上で「無職」が最も多くなっている。また、30歳代、60歳代で「家事専業」が20%以上を占めている。

男性では、30～50歳代で「被雇用者」が7～8割を占めている。60歳代で「被雇用者」、70歳以上で「無職」が最も多くなっている。

30歳代や50歳代で、女性の「被雇用者」が男性に比べて10ポイント以上低く、30歳代や60歳以上で女性の「家事専業」の割合が男性に比べて20ポイント以上高くなっている。

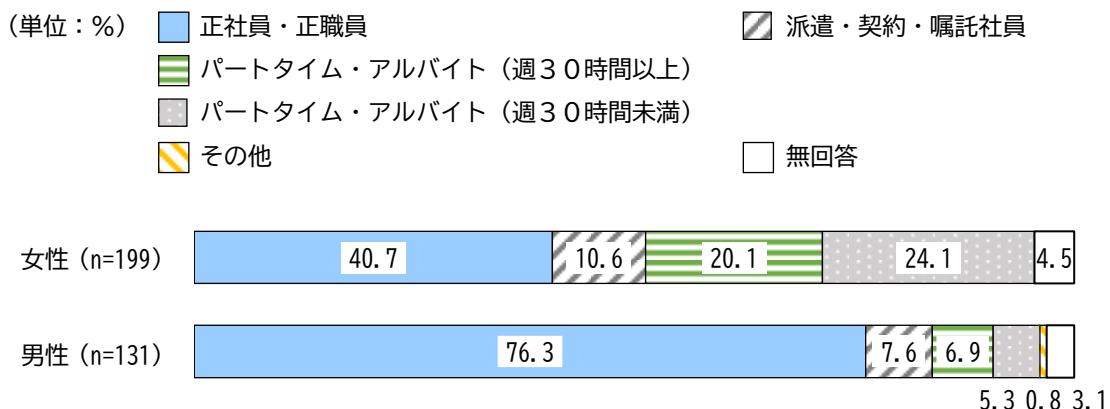
【性・年代別 回答者の職業】

(単位：%)



7. 雇用形態

【回答者の雇用形態】



<性別>

職業を被雇用者と回答した人に、雇用形態をたずねたところ、男女とも「正社員・正職員」が最も高くなっているが、女性は40.7%で男性（76.3%）に比べ35.6ポイント低くなっている。次いで、女性では「パートタイム・アルバイト（週30時間未満）」が24.1%、「パートタイム・アルバイト（週30時間以上）」が20.1%、「派遣・契約・嘱託社員」が10.6%となっており、これら非正規雇用の割合は54.8%で、男性（19.8%）に比べ35.0ポイント高くなっている。

<性・年代別>

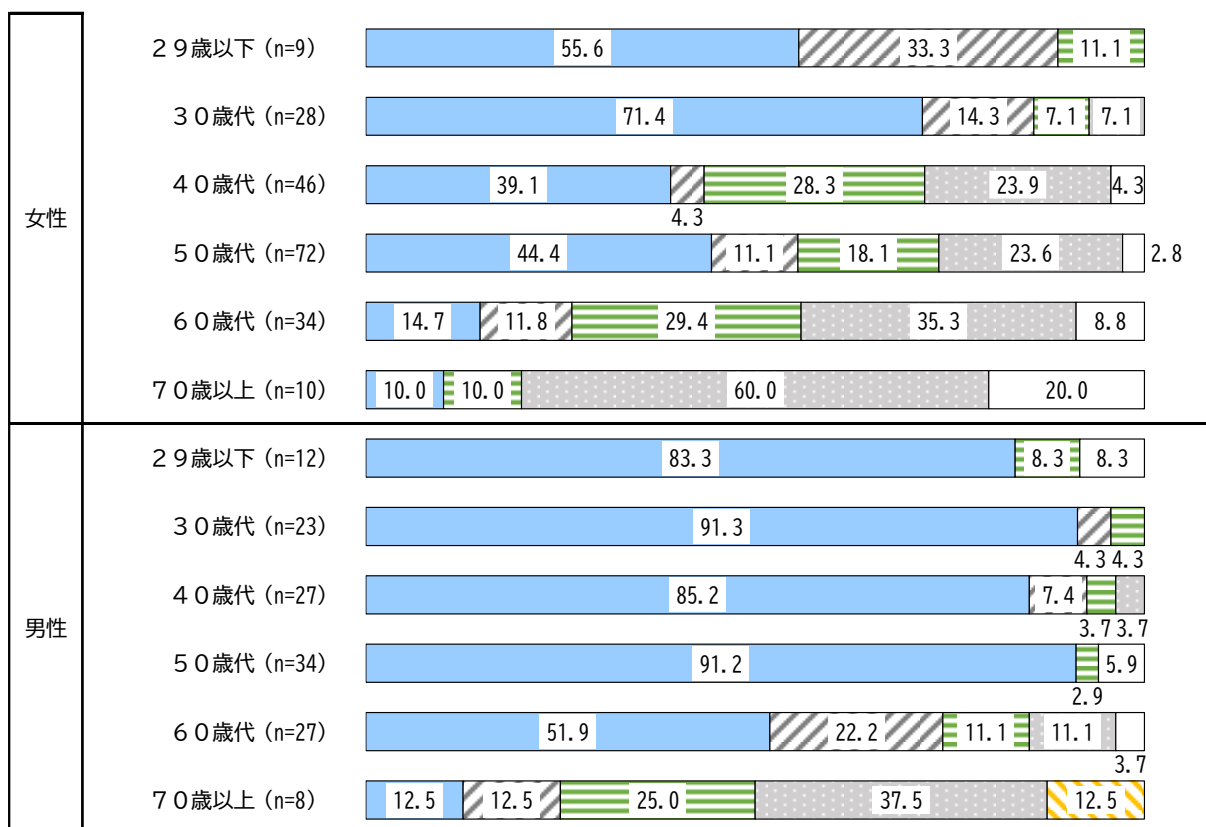
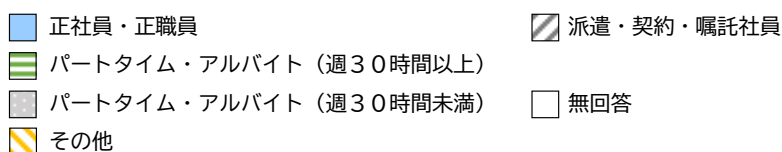
女性では、「正社員・正職員」は30歳代で71.4%と最も高く、40歳代で39.1%、50歳代で44.4%と低下している。60歳代以上では「パートタイム・アルバイト（週30時間未満）」が最も多くなっている。

男性では、50歳代以下で「正社員・正職員」が80%以上を占めている。

40～50歳代では、女性の「正社員・正職員」が男性に比べて40ポイント以上低くなっている。

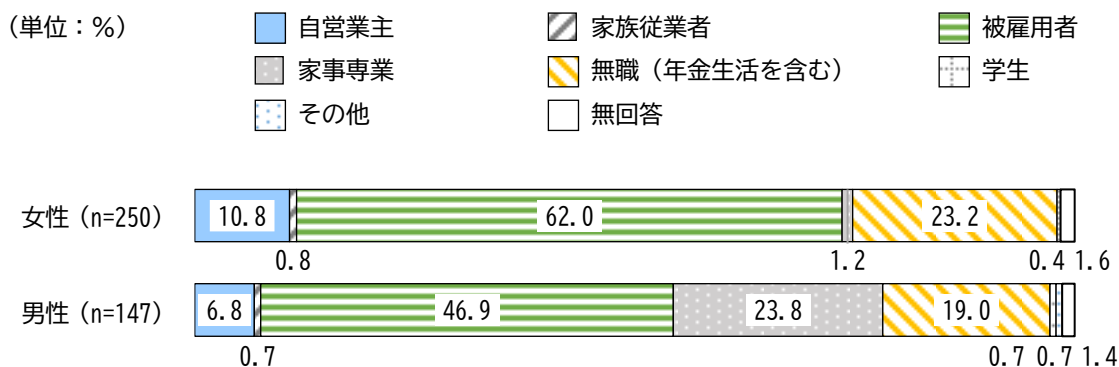
【性・年代別 回答者の雇用形態】

(単位：%)



8. 配偶者・パートナーの職業

【配偶者・パートナーの職業】



<性別>

女性の配偶者・パートナーの職業では、「被雇用者」が62.0%で最も高く、次いで「無職（年金生活を含む）」が23.2%、「自営業主」が10.8%となっている。男性の配偶者・パートナーの職業では、「被雇用者」が46.9%で最も高く、次いで「家事専業」が23.8%、「無職（年金生活を含む）」が19.0%となっている。

女性の配偶者・パートナーの「被雇用者」の割合は男性に比べて15.1ポイント高く、男性の配偶者・パートナーの「家事専業」の割合は女性に比べて22.6ポイント高くなっている。

<性・年代別>

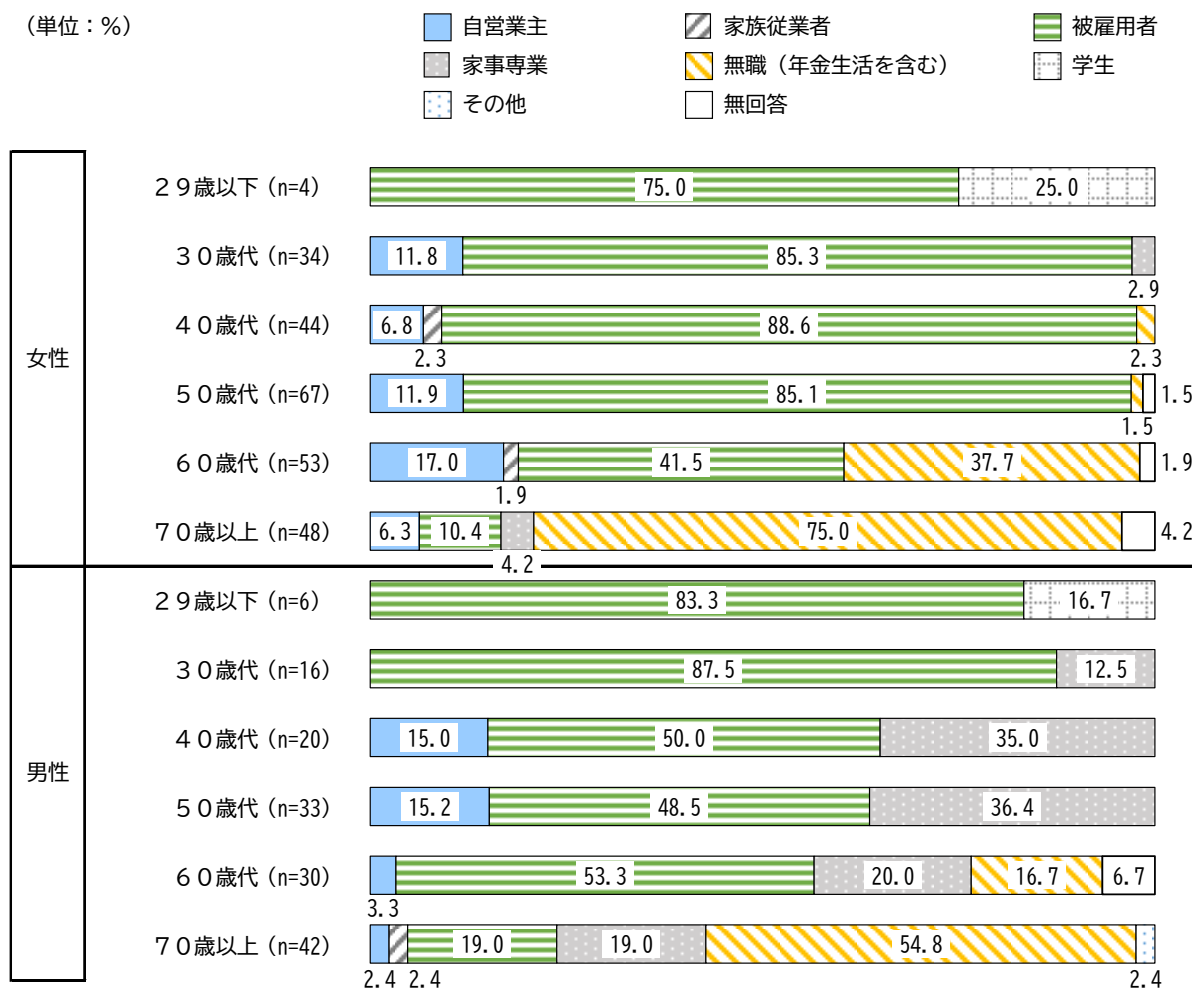
女性では、50歳代以下で「被雇用者」が70%以上を占めている。60歳代で「被雇用者」、70歳以上で「無職」が最も多くなっている。

男性では、30歳代以下で「被雇用者」が80%以上を占めている。40～60歳代では「被雇用者」、70歳以上では「無職」が最も多くなっている。

40～50歳代で、女性の「被雇用者」は男性と比べて30ポイント以上高く、「家事専業」が30ポイント以上低くなっている。

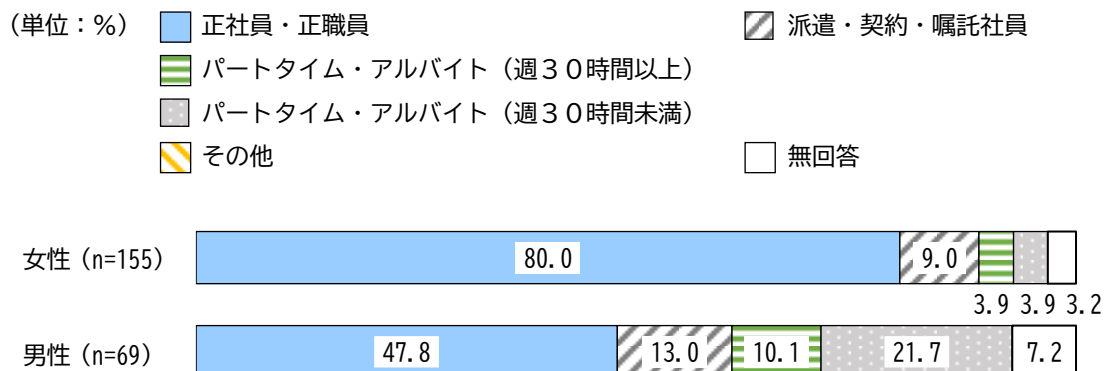
【性・年代別 配偶者・パートナーの職業】

(単位：%)



9. 配偶者・パートナーの雇用形態

【配偶者・パートナーの雇用形態】



<性別>

配偶者・パートナーの職業が被雇用者と回答した人に、配偶者・パートナーの雇用形態をたずねたところ、女性の配偶者・パートナーでは「正社員・正職員」が80.0%を占めている。

男性の配偶者・パートナーでは「正社員・正職員」が47.8%で最も高くなっているものの、「パートタイム・アルバイト (週30時間未満)」(21.7%)、「派遣・契約・嘱託社員」(13.0%)、「パートタイム・アルバイト (週30時間以上)」(10.1%)をあわせた非正規雇用の割合が44.8%と「正社員・正職員」に近い割合となっている。

<性・年代別>

女性では、「正社員・正職員」が40歳代以下で90%以上を占めている。50～60歳代で「正社員・正職員」、70歳以上で「パートタイム・アルバイト（週30時間未満）」が最も多くなっている。

男性の年代別の回答者数が少なく、参考値ではあるものの、60歳代以下で「正社員・正職員」が最も多く、70歳以上では「パートタイム・アルバイト（週30時間未満）」が最も多くなっている。

【性・年代別 配偶者・パートナーの雇用形態】

(単位：%)

